



とび出しちゅうい

すぎ

きみ子 こ

どっかい
読解

たなかやすなり
田中保成

Ver.1

D 4

問題1 この物語は、だれの視点から書かれていますか。

- ① タクシーの運転手さん
- ② 杉 きみ子さん
- ③ 木村さん
- ④ たぬきさん

指導ポイント

物語は、まずだれの視点から書かれているかを確認させておくことが必要です。

D 101

問題2 そのうちに、ひよっこり、山のふもとにへ出ました。この山をこえれば、なんとか、じぶんの町へかえれそうです。

ひよっこりどにた意味の言葉はどれでしょう。

- ① ぼっこり
- ② ひよくり
- ③ ぶっこり
- ④ ばっこり

指導ポイント

「ひよっこり」は、思いがけなくそのことが起きることです。

「ぼっこり」は、急に現われることを表わす言葉です。

「ひよくり」は、ひよっこりと同じ意味です。

「ぶっこり」は、丸くふくらんでいることを表す言葉です。

「ばっこり」は、口や物が裂けたりして大きく開くことを表す言葉です。

D 102

問題3 「へえっ、ほんとうにかめたよ。それじゃ、うさぎもそこらへんで、ねむりこんでるんじゃないのかな。もしかしたら、たぬきもね。たぬきねいりって、いうからな」

木村さんは、また、() しまいました。

() の中に入るのはどれでしょう。

- ① げらげら
- ② けたけた
- ③ くすくす
- ④ にこにこ

指導ポイント

「げらげら」は、しまりなく、大声で笑うさまです。

「けたけた」は、甲高い声で軽薄にとめどなく笑うさまです。

「くすくす」は、しので笑う声です。

「にこにこ」は、楽しそうにほほえみを浮かべるさまです。

木村さんは、何かを見て笑っているわけではありません。自分が思いがけなく連想したことに対しての笑いですから、「くすくす」「にこにこ」になります。

D 7

問題4 「やれやれ。(とび出しちゅうい)なんて、おかしいよ。(はい出しちゅうい)とでも、しどかなちゃ」

どこまでもゆっくりのかめをみつめていると、こっちまで、ねむくなつてきそうです。

だが、ねむくなつてきそうなのですか。

- ① 木村さん
- ② 作者
- ③ かめさん
- ④ うさぎさん

指導ポイント

この物語は、作者の視点で書かれています。ということとは、地の文の描写は作者の視点からなされているといえます。

「ここでの情景描写も作者の視点からということになります。そして、「ここちまで、ねむくなってきそうです。」という主観的評価も作者というところができます。

D 8

問題5 「いちいち、いうなよ。一つにまとめればいいじゃないか」

このときの木村さんの気持ちはどれでしょう。

- ① たいくつする
- ② くじける
- ③ うんざりする
- ④ やりきれない

指導ポイント

「たいくつする」は、することがなくて、時間をもてあますことです。

「くじける」は、勢いや意欲がそがれることです。

「うんざりする」は、物事に飽きて、つくづくいやになるさまです。

「やりきれない」は、やり遂げることができないとか、耐えられないということです。

D 9

問題6 「まってくれよ、そんな、かえるやありなんて、ちゅういしきれないよ」

このときの木村さんの気持ちはどれでしょう。

- ① あきつめる
- ② すねる
- ③ ふてくされる
- ④ やけになる

指導ポイント

「あきつめる」は、もつ希望や見込みがないと思ってやめることです。

「すねる」は、すなおに人に従わないで、不平がましい態度をとることです。

「ふてくされる」は、不平・不満の気持ちがあって、なぜやりの態度や反抗的な態度をすることです。

「やけになる」は、物事が自分の思いどおりに運ばなくて、どうにでもなれという気持ちになり、思慮のない乱暴な振る舞いをすることです。

木村さんは、できるだけ注意をして運転をしていましたが、さすがにかえるやありまで注意することはできないと思っっているのですから、「あきつめる」ということになります。

D 10

問題7 「土ってのは、いいにおいがするもんだなあ。それに、この、ちっちゃな草の、なんていきいきしていること。子どものころは、よく、こうやって土をほってあそんだっけなあ」

このときの木村さんの気持ちはどれでしょう。

- ① むなし
- ② なつかしい
- ③ あてにする
- ④ はりきる

指導ポイント

「むなし」は、そこにあるべきものがないということ です。

「なつかしい」は、心がひかれ、離れたくない気持ちです。

「あてにする」は、見込みをたてて頼みとすることです。

「はりきる」は、元気や力が満ち溢れていることです。

木村さんは過去の状況を思い出し、それに心がひかれているのですから、「なつかしい」ということになりま

D 12

問題8 「ふうん。この山には、ふうせんまで、すんでいるのかね。」

どうも、そうらしいですね。

そうらしいと思っっているのはだれですか。

- ① 木村さん
- ② 風船
- ③ 作者
- ④ とんび

指導ポイント

会話部分は木村さんが思っていることです。それに対して作者が地の文で応じているといつことになりますので、「作者」といつことになります。

D13

問題9 す、とび出しちゅうい

「えっ、(す)だつて?(す)つて、なんだい?」

このときの木村さんの気持ちはどれでしょう。

- ① 信じきれない
- ② まよう
- ③ なやむ
- ④ ふしぎに思う

指導ポイント

「信じきれない」は、まだ少し疑っているところがある。

「まよう」は、いくつかの考えのうち、どれにするか考えている。

「なやむ」は、決めかねたり解決の方法が見いだせなかつたりして、心を痛めることです。

「ふしぎに思う」は、どうしてなのか、普通では考えも想像もできないことです。

木村さんは、とび出しちゅういから連想するものの中に「す」といつ言葉が見当たらない状態なので、「ふしぎに思う」といつことになります。

D14

問題10 「あそこからおちたんだね。よし、よし」

木村さんは、せのびして、手をのばして、すを、もとのところへもどしてやりました。

木村さんの性格はどれでしょう。

- ① ずるい
- ② よくばり
- ③ 思いやりがある
- ④ ずうずうしい

指導ポイント

「ずるい」は、自分の利益を得たりするために、要領よく振る舞つことです。

「よくばり」は、限りなく求める気持ちです。

「思いやりがある」は、他人の身の上や心情に心を配ることです。

「ずうずうしい」は、恥を恥とも思わないことです。

木村さんは、巣の中のひなの気持ちになつて巣をもとのところにもどしているのですから、「思いやりがある」といつことになります。

D15

問題11 — そして、木村さんは、いつまでもときどき、おもうのです。

このつぎ、やすみの日に、こんどはくるまにのらないで、あのおかしな山へ行つて、やたらにならんでいる

立てふだにじゃまされながら、ゆっくりゆっくり、あるいてみたいな、と。

作者は、この物語で何を伝えようとしているのでしょうか。

- ① タクシーの運転手は、つかれてゆめをみる必要がある。
- ② タクシーの運転手には、親切な人が多い。
- ③ 道には生き物があるので注意しよう。
- ④ 人間だけでなく動物の命も大切にしよう。

指導ポイント

「うなむき たぬき」とび出しちゅうい、「といつこととは、うなむき たぬきの命を大切に考えていることが表されています。

それから出てくる生物の命も大切だということが表されています。
そして、最後に「にんげん とび出しちゅうい」となっていることは、それまでの生物の命と人間の命を同じ価値とみているということになります。
このことから、作者は人間だけでなく生あるものすべての命を尊重しなければならないというメッセージを読み取ることができます。



かばんの中に かばんをいれて

あ わ な お こ
安房直子

ど っ か い
読解

た な か や す な り
田中保成

Ver.1

p16

問題1 この店の、三代目の主人は、上原一郎さんといいました。まだ若者でしたが、りっぱな腕をもって、華とミシンさえあれば、すばらしいかばんをつぎつぎにこしらえることができました。けれども、できあがったかばんを売ることは、たいへんへたでした。かばん屋のショーウィンドーには、金のびよのついた、見るからにがんじょうそうなトランクや、りっぱなハンドバックがかざってありましたが、どれも、ほこりをかぶっていたのです。

この情景から読み取れないものはどれでしょう。

- ① この店は、古くからある店です。
- ② 上原一郎さんは、すばらしいハンドバックをはやく作ることができる。
- ③ 上原一郎さんの作ったトランクは長い間売れていない。
- ④ 上原一郎さんは、社交的な人です。

指導ポイント

この店が三代続いているということは相当古い店ということが出来ます。

すばらしいかばんの中にハンドバックも入ります。

トランクがほこりをかぶっているということは、長い間売れていないということです。

かばんを売ることがへたということから、社交的な人ではなさそうですということを読み取ることが出来ます。

p17

問題2 「開けてもくれても、ガラスの中だ。」

「たいくつで、たいくつで、やりきれない。」

ショーウィンドーの中のかばんが、つぶやいていたのです。

このときのかばんの気持ちはどれでしょう。

- ① おびえる
- ② 不満
- ③ さびしい
- ④ くやむ

指導ポイント

「たいくつ」は、することがなくて、時間をもてあますことです。

「やりきれない」は、がまんできないことです。

「おびえる」は、こわがってびくびくすることです。

「不満」は、理想的な状況といつには足らないものがあって、不平をいだくことです。

「さびしい」は、本来あるものが欠けることになって、心が満たされず、物足りない気持ちです。

「くやむ」は、失敗したことや、十分にできなかったことなどを、あとから残念に思うことです。

かばんは、中にものをいれて運ぶという理想的な状況にないことを不平を言っているのですから、「不満」ということになります。

p18

問題3 「そう。かばんは、中にものをいれて運ぶためにあるのです。それを、こんなところに、いつまでもとじこめられているんじゃない、やりきれません。息がつまって、死にそうです。」

ふうん……と、一郎さんは、うなずきました。

「……」「」のところで一郎さんはどのように思っていましたか。

- ① 共感する
- ② はりあう
- ③ へつらう
- ④ 反対する

指導ポイント

「共感する」は、他人の意見や感情などにそのとおりだと感じることです。

「はりあう」は、同じものをめざして競争することです。

「へつらう」は、人の気に入るように振る舞うことです。

「反対する」は、相手の考えと異なる考えになることです。

一郎さんは、うなずいているのですから、」共感する「というようになります。」

p 19

問題4 「そんなら、あなたとぼくとで旅にでましょう。」

「……」

一郎さんは、あっけにとられて、目をまるくしました。なぜ、一郎さんは無言になったのですか。

① はいのかわりに無言で目をまるくした。

② 長い間かばんをどじこめてゐるかつたと思ひ声がでなかつた。

③ おどろいて声がでなかつた。

④ 旅といわれても、どこに行けばよいのか、すぐには思ひうかばなかつたので、だまつてしまつた。

指導ポイント

一郎さんは、あっけにとられて、目をまるくしていることから相当驚いているので、「おどろいて声がでなかつた。」というようになります。

p 20

問題5 「お店のかばんを、みーんないれてくださいよ。」

そんなことして、どうするんだ？ と、一郎さんは、またかんがえました。

このときの一郎さんの気持ちはどれでしょう。

① しらける

② あやしむ

③ ふしぎがる

④ うたがう

指導ポイント

「しらける」は、興がさめて気まずい雰囲気になることです。

「あやしむ」は、変だと思つことです。

「ふしぎがる」は、どつしてなのか、普通では考えも想像もできないときの気持ちです。

「うたがう」は、本当かどうかあやしむことです。

一郎さんは、理由が本当かどうかを考えているのではなく、そもそもその理由が見当たらない状態なので、から、「ふしぎがる」というようになります。

p 21

問題6 一郎さんが家を出る場面の次は、どんな場面ですか。

① 北の町

② 南の町

③ 列車の中

④ ホテルの中

指導ポイント

それから三十分後に、一郎さんは、南の町へいく列車にのつていました。ということですから、「列車の中」ということになります。

p 22

問題7 一郎さんがやってきた町は、どんな町ですか。

① 寺内町

② 門前町

③ 城下町

④ 港町

指導ポイント

「寺内町」は、戦国時代、浄土真宗本願寺派などの寺院の境内に発達した集落で、周りに土居を巡らし、濠ほり(を掘って他宗派や領主の攻撃に備えていました。代表的な町としては大坂の石山本願寺、越前の吉崎などが有名です。

「門前町」は、中世以降、有力な社寺の門前を中心に発達した町で、神社の場合は鳥居前町ともいいます。代表的な町としては善光寺の長野、伊勢神宮の宇治山田などが有名です。

「城下町」は、戦国時代から江戸時代にかけて、大名の居城を中心に発達した市街です。
一郎さんがついた町は、海のほとりの港町でした。

D224

問題8 「商売だつて?」

「そうですね。あしたは、このトランクの中のかばんを、売りにいくんじゃないか。」

これをきいて、一郎さんは、ゆううつになりました。
なぜ、ゆううつになったのでしょうか。

- ① この町に知り合いがいなかったから。
- ② 売ってあるくことが、はずかしかたつたから。
- ③ かばんのよさがわかる人がいないと思ったから。
- ④ 力が弱いので長い間かばんを持って歩けないと思ったから。

指導ポイント

一郎さんは、自分のこしらえたかばんを、売って歩くことなんて……。そんなはずかしいこと、できるだろうか。

「そんな」とは、自分のこしらえたかばんを売って歩くことです。

D225

問題9 「ここまでできて、おじけついちゃいけません。どれ、ひとつ、わたしがおまじないをしてあげましょう。ちよつと、トランクの中にはいってごらん下さい。」

おじけづくという意味とにている言葉はどれでしょう。

- ① おまじない
- ② 強がる
- ③ 気まずい
- ④ いたたまれない

指導ポイント

「おじけづく」は、おじけづいてしりこみすることです。

「強がる」は、強いよつに見せかけることです。

「気まずい」は、互いの気持ちがつくりと合わず不快なさまです。

「いたたまれない」は、それ以上その場所にとまっついていられないことです。

D226

問題10 その夜、一郎さんは、ぐつすりねむって、旅のつかれをいやしました。そうして、よく朝目をさましますと、一郎さんの胸の中は、勇氣と自信で、はちきれそう。

「はちきれそう」のあとに入れるとすると、どんな言葉が入るでしょう。

- ① はちきれそう ()。
- ② である
- ③ だ
- ④ たい

指導ポイント

この物語は、文末に丁寧語「です」「ます」などを用いた口語の文体(敬体)でかかれています。「といつことになります」。

D227

問題11 そうして、トランクの中からつきつきにとりだされたハンドバックや、ポストンバックや、学生かばんや、さいふや、小銭入れまで、ためつすがめつながめたすえに、あれを三つ、これを五つと、買ってくれました。

「ためつすがめつ」とにている言葉はどれですか。

- ① じつじつ
- ② じろじろ
- ③ きよろきよろ
- ④ まじまじ